

告辞

令和4年度九州産業大学入学式に当たり、大学を代表して、新入生並びに保護者の皆様に「ご入学おめでとう」のお祝いを申し上げます。また、本日は、ご来賓の皆様には、ご多用にも拘らず、ご来席いただき誠に有難うございます。

九州産業大学は、創設者である中村治四郎先生が1960年に「産学一如」を建学の理想として創立され、62年の歴史があり、現在では文理芸の10学部、大学院5研究科からなる総合大学に発展してきました。

学部の構成は、文系の国際文化学部、人間科学部、経済学部、商学部、地域共創学部、理系の理工学部、生命科学部、建築都市工学部と芸術系の芸術学部、造形短期大学部です。

大学院の構成は国際文化研究科、経済・ビジネス研究科、情報科学研究科、工学研究科、芸術研究科です。

本学は、これまで社会の多方面で活躍する13万人を超える卒業生を輩出してきました。これは社会的評価の高い九産大生を育成するために、本学の教職員が一体となり、長年取り組んできた「学生一人ひとりの学びを育成する教育と教育支援の成果」だと考えています。

これからの本学を取り巻く環境は少子化、グローバル化、超スマート社会化に、新たに想定不能な自然災害、コロナ禍、地域間の紛争などが加わり、これまでのルールが通用しない時代になりつつあります。画一性から多様性・柔軟性が求められ、みなさん一人一人の個の知や創造力で世界や社会を変えることができる時代でもあります。

現在、創立100周年に向けたビジョン「新たな知と地をデザインする大学へ」を実現すべく、2025年に向けて「文理芸が融合したグローバル総合大学へ」をテーマに、新たな活動を展開しています。

本年度からは、全学部の学生が履修する「KSU基盤教育」による基礎力と、企業、行政や地域の方々との連携により解決策を現場で探求する「KSUプロジェクト型教育」に次世代のDX化に向けた「AI・データサイエンス」などの「新しい学力」の修得に注力した教育改革を推進してまいります。

これらの特色ある実践的な学びを通して、それぞれの専門分野で創造性溢れる豊かな感性と専門性を育み、次代の産業界をリードし、地域社会へ貢献できる人材の養成を目指して参ります。本学の多様な専門教育により、個性豊かな人間力をつけてください。

皆さんもコロナ禍の中で困難なときにあっても、常に夢のあるビジョンを持ち、学生生活ではお互いを大切に思い、配慮しあい、お互いに寛大に接し、夢の実現に向けて一緒に力を合わせて日々の活動に取り組んでください。

結びに、本学は、皆さんの夢や希望をカタチにする大切な一人ひとりの学生生活を、入学から卒業・就職まで、クラス担任を中心に教職員の共創協働により支援して参ります。

皆さんの大学生活が実り豊かなものになることを祈念して、私の告辞といたします。

令和4年4月1日

九州産業大学長 北島己佐吉